



生保内中学校報

令和2年
2月7日(金)
No. 1 1

6年生が『体験入学』にやってきました。

今週火曜日（4日）に、お隣の生保内小学校から31名の6年生が、やや緊張の面持ちの中「中学校体験入学」にやってきました。

最初に控え室となっている図書室で「体験入学」の日程を聞き、その後、英語か音楽の授業を体験したり国語や美術の授業を参観したりしました。最後には、資料を使って【中学校での授業や部活動、きまり】について説明を受けました。

体験入学に来た6年生、一言で言えば「とても立派」でした。

例えば、授業を体験したり参観したりする前にできたわずかな時間でも、騒ぐことなく、静かに本を読んだり、配布された資料に目を通したりしていました。また、体験授業では1年生とペアやグループになり、英語を聞いたり話したり、音楽と一緒に声を出してリズムを取ったり、積極的に授業に参加していました。最後の説明を受けた後には、【中学校生活】について気になったことやもっと知りたいことについて、臆せず納得できるまで質問していました。

時と場を踏まえて、場に応じて切り替えて行動できる6年生、4月に中学校に入学してくるのがとても待ち遠しくなりました。

一方の中学生、彼らが活躍する場面は『授業の様子を見てもらう』場面。

私も6年生と一緒に授業を見て回りましたが、可愛い後輩を前にして「中学生になるとこんなこともできるようになるよ」「こんな風に立派になれる！」と、無言のアピールをするかのように、自信をもって堂々とした態度で授業に臨んでいました。特に、6年生と一緒に授業を行った1年生の表情はピカイチでした。

1年生、中学校での生活はまだ10ヶ月程ですが、気付かぬうちにそのわずかな期間で大きく成長しているのだと実感しました。

『子どもたちの成長を支え、共に喜び合える』、そんな教師集団になりたいものだと感じた時間でした。



静かに読書する6年生



出川イングリッシュクイズに挑戦・英語



リズムに合わせてゲー・チョコキ・パー・音楽



説明を熱心に聴く6年生

“憧憬の像” 河 正雄さん

今週火曜日（4日）の秋田さきがけ新聞【文化】欄に、【河 正雄（ハ・ジョンウン）】さんが投稿された「いくつもの山を越え」という記事が掲載されました。

ご存じのように、河正雄さんは本校の卒業生（9期生）であり、本校校庭の一角に設置されている“憧憬の像”を寄贈してくださった方でもあります。また、平成29年の12月には本校にお出でいただき、PTAの際にご講演いただいたので、3年生はその講演も記憶にあるのではないのでしょうか。

投稿された内容は、平成30年、河さんの祖国韓国の平昌（ピョンチャン）で開催されたパラリンピックのノルディック競技（クロスカントリー競技とバイアスロン競技）に出場した高村和人さんとの交流について、お二人が交流するようになったきっかけや河さんの生い立ち、お二人が実際にお会いしたときの様子などが書かれています。

高村さんも本校卒業生であり、現在は岩手県立盛岡視覚支援学校で教師として教壇に立たれ、今年度『文部科学大臣優秀教職員表彰』（学校教育で優れた成果を挙げた教職員を対象）を受賞されています。

お二人のように、本校の卒業生がいろいろな分野で活躍されていることは、生徒にとって、いや生保内中に関わる全ての方々への誇りなのではないのでしょうか。卒業生の活躍に追いつけ、追い越せの精神で、子どもたちの成長を支えていきたいものだと思います。



ご講演いただいた時の河正雄さん